

ハトムギ通信 (第4号)

令和2年9月18日
アルプス農協管内農業技術者協議会

- 播種後120～130日を目安に登熟状況をしっかりと確認し、遅れず速やかに収穫しましょう。
- 大豆コンバインでの収穫は、1条刈りでゆっくりと高刈りを行いましょう。

1 収穫時期の判断

収穫適期は、主稈上位3節で完熟粒(茶褐色の子実)の割合が90%になった頃(播種後120～130日頃)を目安にして、株全体では完熟粒が70～80%の時期です。

播種日の早い圃場から順に収穫を始めましょう。しかし、収穫が早すぎると未熟粒が多くなり、歩留りが低下するため、登熟状況をしっかりと確認してから刈り始めましょう。

収穫時期の目安
(主稈上位3節の完熟粒割合90%)



子実の成熟具合



完熟粒 ← 未熟粒 →
(茶褐色) (薄茶色～薄緑色)

2 コンバイン収穫の注意点

- (1) コンバインの清掃を徹底しましょう。
- (2) 大豆コンバインで収穫する場合は、1条刈りで行いましょう。また、刈取速度を速くすると収量が減るおそれがあるので注意しましょう。
- (3) 刈り高さは、着粒の最下部分からの高刈りとしましょう。



コンバイン収穫の様子

3 収穫後の圃場の管理

アワノメイガは刈株の茎の中で幼虫が越冬します。越冬幼虫を防除するため、刈株はモアで細断し鋤き込みましょう。

- 収穫時には、ハトムギ以外のもの(大豆など)が混入しないように十分注意してください。
- 生産記録簿は全て記入し、必ず各営農経済センターへ提出してください。